



狩野 一也さん(75) とみ子さん(72) 迫町・平柳 1966(昭和44)年11月入籍

楽しみを持って好きなことを

★二人のなれ初めは 【とみ子】なれ初めなんてないよね。実家も近くで、小学生の頃から知ってたから。 【一也】二人とも高校卒業後、東京の学校さ行って、あっちでもこっちでも会ってたが、それで決めたようなもんだな。 ★お互いの性格は 【一也】面倒見がいいんだよ。 【とみ子】運動ばかりしてきた人で几帳面。家のこと以外は責任感があるかな(笑)。 ★現在の楽しみは 【一也】たまにだけと、車で遠出して、旅行さ行くこと。孫の成長も楽しみ。 【とみ子】下手だけど、歌っことが好き。迫コーラス「エコー」で、仲間さん入れてもらってるの。誰でも参加できるし、毎週水曜日に迫公民館で歌ってるから、来てみてください。 ★夫婦円満のコツは 【とみ子】お茶っこ会で聞いたけど、年取ったら「今日行く」のごと、「今日用事」あることが必要なんだって。それ守って、お父さんも私もいつも出かけてるの。別々にだけ(笑)。楽しみを持つことが大切な。 【一也】けんかはするよ。んだけど、次の日までっていうのはないかな。お互いのことに口出ししてもらおうが一番だな(笑)

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「万葉の桜に願ひ込め」

古里を離れてから、半世紀がたとうとしています。年を重ねるにつれ、幼少の頃を夢に見ては当時を思い出すようになりまし。今更懐かしんでも仕方ないことですが、自然豊かな古里は、幾つになっても優しく語りかけ、力強く抱擁してくれます。

私にとつての古里は、かけがえない唯一無二の財産です。脆弱でセンチメンタルな心象風景の思いだけではなく、春・夏・秋・冬の明確な自然の輪廻があり、心温まる人がいるからです。 「ふるさととは遠きにありて思ふもの」と人口に膾炙されていますが、私たちはとても

小野寺 健吉さん(66)

東京迫会事務局長 迫町(鉄砲丁)出身



恵まれてます。いつでも帰ることができる古里があるからです。このことは、都会で生活し、徒に馬齢を重ねてきたからこそ分かるものだと思います。

東京迫会は、故郷を共にする同士の会で、会員相互の親睦交流と情報交換、市歴史博物館への石碑の寄贈、農産物の購入、東日本大震災の義援金など、迫町に寄与貢献するために、1986(昭和61)年に設立しました。私も当初からボランティア活動を続け、幸運なことに今年で33年目を迎えました。「黄泉の国」にいる父の遺産なのか、よくくじけずに続いているものと感じます。改めて、支援・協力を頂いている市役所や関係協力団体、会員の皆さんに感謝しています。

年々歳々、東京迫会の会員は高齢化が進み、会員数や総会・懇親会の参加者数が減少しています。魅力ある東京迫会にするため、横川会長を筆頭に、役員一同知恵を出し合い、奮闘しているところです。関東一円に在住する皆さんの入会を切に望んでいます。古里、鹿ヶ城公園の万葉の桜が、思いがけない出会いと幸運をもたらしますように。

おらほの道の駅

道の駅米山 「ふる里センターY・Y」



春の風物詩「米山チューリップまつり」を開催。敷地1haに約10万株、60種の色鮮やかな花が咲き誇ります

今月は、道の駅米山「ふる里センターY・Y」の山崎準一(のりむね) 郎駅長にお話を伺いました。 Q「米山チューリップまつり」について教えてください 4月26日から5月10日まで、当道の駅西側で「米山チューリップまつり」を開催します。敷地約1haに約10万株、60種の赤、白、黄色やピンクなど、色鮮やかなチューリップが咲きそります。花は、姉妹都市の富山県入善町などから球根を買い付け、育てたもの。午前9時から午後4時まで、1株200円、3株500円で販売します。雨天



会場のチューリップは1株から購入できます

などの場合は、販売を中止することがありますので、お問い合わせください。 Qまつりで開催されるイベントなどを教えてください 期間中は、次のイベントを

開催します。▼4月29日(日) 午前9時/第10回東北地区高等学校丸山相撲大会▼5月3日(木) 午前11時/米山愛子歌謡ショー▼5月4日(金) 午前11時/よさこい乱舞▼5月5日(土) 午前11時/宮野浅太郎一座股旅舞踊ショー 道の駅では、地元農家が栽培したイチゴ「もういっこ」などの新鮮な農産物や、人気商品イチゴソフトクリームなどを販売しています。こちらにも、ぜひ足を運んでください。 【問い合わせ】道の駅米山「ふる里センターY・Y」 ☎0220(55)2747

まちの文芸

俳句・川柳

作品募集!

●6月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、4月27日(金)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句・川柳 古布ゆれて旧家にぎわうつるし籬 休日は曾孫主役の癒しの日 満開の菜の花続く減反路 ロープウェイ昇る眼下に紅椿 伊豆沼の夕陽背にして雁帰る 仕舞湯に夜陰を破る猫の恋 ニン月や南の国に地震のあり

遊佐 弘子 (迫) 佐々木三次 (登米) 須藤 捷子 (東和) 千葉 勝保 (東和) 千葉サキコ (東和) 及川 廻 (中田) 小野寺禮喜子 (中田)

紅梅を愛でし亡き母来てらむ 梅の花こぼる々ま々に風やさし 励むものあるは幸せ針供養 ふらここを漕ぐや白雲乙がまま 陽射し受け季節をゆずる松の雪 でのひらへ便り嬉しき春の雪 雪の果これより野畑大笑い 冬晴れや編隊組みつ鳥の過ぐ

菊地 典子 (中田) 佐々木栄一 (中田) 千葉 かつ子 (中田) 二木 ゆきこ (中田) 山内 晨 (中田) 今野 ひろ子 (豊里) 浅野 のり子 (津山) 大友 ふき江 (津山)

応募総数33作品